ヤスダ　カズヒコ
安田　和彦
外国語学部・教授
文学修士／大阪外国語大学

主な研究業績

- インドネシア語における時の接続詞に導かれた従属節中の主語の省略
- インドネシア語のいわゆる「受動」文の類型
- インドネシア語のいわゆる「受動」文における三人称動作主特定代用表現
- インドネシア語のゼロ代名詞の用法について
- インドネシア語の三人称代名詞“dirinya”について
- meN−動詞の目的語となる従属節に現れる動詞+nyaについて
- untukに導かれる副詞節における主語の代名詞化について
- untukに導かれる形容詞節における主語の代名詞化について
- インドネシアのテレビ録画映像の活用について
- supaya補文を目的語とする「要求」動詞文における代名詞化について

研究テーマ

インドネシア語の統語構造についての談話文法、機能文法の立場からの研究

概　要

インドネシア語のいわゆる「受動」文が、談話の中でどのような情報を提示しているか。

インドネシア語のmeN−動詞文の構造、特にmeN−動詞の目的語となる句、節の統語構造がどのような要因に基づいて決定されているか。

インドネシア語の様々な代名詞は、談話の中でどのような要因に基づいて用いられているか。

インドネシア語文法研究の成果を、日本におけるインドネシア語教育にどのように生かしていくか。